

リラクゼーションスペース(店舗)における
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)
対応ガイドライン

【監修】日本リラクゼーション業協会顧問医師 山本 竜隆

2020年3月6日発令(2020年5月11日改定)



目次

はじめに	3
1. セラピストの対応	4
2. 店内環境の対応	5
店舗における新型コロナウイルス感染症拡大防止チェックリスト	6
3. 感染者情報に接した場合の対処	7
(1) 「従業員」が「感染した」場合	7
(2) 「利用者」が「感染していた」場合	8
(3) 「従業員」の「感染が疑われる」場合	9
4. 利用者への注意喚起	10
5. 認定試験やリラクゼーションセミナーへの対応	12
6. 最後に	13
<参考>	14

はじめに

世界レベルで新型コロナウイルス感染が拡大する中、日本国内に於いても感染拡大防止に向けて、官民一体となって対策を講じておりますが、感染拡大が収まらなければ国民の健康被害は基より経済的な被害も深刻な問題です。

リラクゼーション産業界から感染者を出さない、感染者の侵入を水際で防ぎ、感染防止対策を徹底するとともに、発生時の具体的な対応をあらかじめ定めておくことが重要です。

リラクゼーションスペース（店舗）の利用者並びにセラピスト、従業員等の生命と健康を守るために、業界共通の対応指針が必要不可欠であると考えます。

よって当協会では、ここにリラクゼーションスペース（店舗）の特性に即した、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ運営ガイドラインを定め、全国のリラクゼーション事業者に対してガイドラインに沿った店舗運営に励んで頂くことを強く求めます。

一般社団法人日本リラクゼーション業協会
理事長 林 加奈恵

1. セラピストの対応

- (1) マスク(無い場合は手ぬぐいや布など)を着用する
- (2) 従業員は施術ごとに手洗いと、うがいを必ず実行する
- (3) 手洗いがすぐに難しい場合は、アルコール消毒、ウェットシート等で除菌する
(その場合のゴミは一般のゴミと分けて蓋付きのゴミ箱で厳重に管理する)
- (4) 出勤前に検温し、発熱がある場合には出勤せず自宅待機とする
- (5) 店舗出勤時と退勤時に改めて検温し「検温記録シート」に記入する
- (6) 発熱、せき、体調が優れないと感じた場合などの感染症状がある場合、
ただちに出勤を停止し自宅療養する(全ての症状が治まって 48 時間後より
再出勤を可とする)

2. 店内環境の対応

- (1) 営業時間に関しては施設方針に準じ、原則、時間短縮での自粛営業とする
- (2) 最低でも1時間毎に、こまめな店内換気を行う
- (3) ドアノブや小物入れなど手に触れる対象物は、除菌液で消毒する
(消毒清掃チェックリストの使用推奨)
- (4) 店舗出入口外に利用者のためのアルコール消毒液を置き、消毒を徹底する
- (5) 2mを目安に可能な限り他の利用者とベッド間隔を空けて施術を行う
- (6) 施術後にベッドの除菌液での消毒を徹底する
- (7) タオル再利用は原則禁止し、お客様お一人ごとにタオルの取り替えを行う
- (8) 清潔なお着替えをご用意する
- (9) トイレには、蓋を閉めて汚物を流すよう表示するとともに、ペーパータオルの設置あるいは個人用タオルの準備をし、ハンドドライヤーおよび共通のタオルは禁止する
- (10) 休憩スペースは常時換気することに努め、一度に利用する人数を減らし、対面での会話をしないようにする。共有する物品は定期的に消毒する
- (11) 鼻水、唾液などが付いたゴミはビニール袋に入れて密閉し縛る。ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用し、回収後は必ず石鹸と流水で手を洗う
- (12) 高齢者や持病のある方は感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重で徹底した対応をする

※ 実施については次ページのチェックリストを活用する

店舗における新型コロナウイルス感染症拡大防止チェックリスト

このチェックリストは、店舗における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する基本的な対策の実施状況について確認いただくことを目的とする

項 目	確認
緊急事態措置に協力して時間短縮による自粛営業を行なっている	はい・いいえ
咳エチケットを全員に周知し、徹底を求めている	はい・いいえ
マスクを着用して、利用者を案内している	はい・いいえ
こまめな手洗いの重要性について周知し、徹底を求めている	はい・いいえ
人がよく触れる箇所について、拭き取り・消毒を行っている	はい・いいえ
出勤前に体温を確認するよう全員に周知し、徹底を求めている	はい・いいえ
出勤時に全員の日々の体調を確認している	はい・いいえ
風邪症状や発熱があれば責任者に報告するよう求めている	はい・いいえ
長時間の時間外労働を避けるなど、疲労蓄積しないよう配慮している	はい・いいえ
1時間に1回の換気を徹底している	はい・いいえ
ベッド間隔を十分にとり、施術を行なっている	はい・いいえ
ドアノブや小物入れなど手に触れる対象物は、除菌液で消毒する	はい・いいえ
時差通勤、自動車・自転車通勤の活用を図っている	はい・いいえ
風邪症状等が出た場合は、「出勤させない」の徹底を求めている	はい・いいえ
新型コロナウイルス感染症陽性であると判明した場合は、速やかに電話、メール等により連絡することを周知し、徹底を求めている	はい・いいえ

3. 感染者情報に接した場合の対処

(1) 「従業員」が「感染した」場合

- ① PCR 検査を実施することが決定した段階で、速やかに責任者に報告
- ② 病院、保健所から該当人に連絡が入る
- ③ PCR の結果が判明した際には、その結果を速やかに責任者に報告する
(結果が陰性であった場合も含む)
- ④ 陽性であった場合、該当人は医師および保健所の指示に従う
該当人は医師および保健所の許可があるまで勤務を禁止する
- ⑤ 責任者は予約の利用者へ連絡し、日時・店舗の変更をお願いする
- ⑥ 濃厚接触者(従業員・利用者)および過去 2 週間の利用者を特定する
- ⑦ 感染中に来店されたお客様への連絡
- ⑧ 公式に発表する
- ⑨ 日本リラクゼーション業協会に報告する
- ⑩ 保健所による従業員聞き取り調査および店舗消毒に協力する
- ⑪ 該当店舗は営業を最低 2 週間自粛する
- ⑫ 同店舗、他従業員の 2 週間の経過観察を行う
- ⑬ 各店舗の営業再開を判断する
- ⑭ 営業を再開する

(2) 「利用者」が「感染していた」場合

- ① 保健所から該当店舗に連絡が入る
- ② 利用者および来店日時を特定する
- ③ 滞在時間に店内にいた従業員と利用者を特定する
- ④ 濃厚接触者(従業員が施術した者や会話した者)を特定する
- ⑤ 該当する利用者へ連絡する
- ⑥ 保健所による従業員聞き取り調査および店内消毒に協力する
- ⑦ 営業判断を行う
- ⑧ 営業を自粛する場合、該当する予約客へ連絡する
- ⑨ 公式に発表する
- ⑩ 日本リラクゼーション業協会へ報告する
- ⑪ 従業員(濃厚接触者)の 2 週間の経過観察を行う
- ⑫ 営業を再開する

(3) 「従業員」の「感染が疑われる」場合

※ ここでいう感染が疑われる場合とは、体温が平熱以上もしくは、熱がなくても通常に無い倦怠感、だるさなどの症状がある状態を指す。

① 責任者に報告

② 責任者は「シフト・予約」状況を確認、判断する。

※下記に該当する症状が一つでもある場合、一律自宅にて安静待機とする

A) 発熱(平熱より高い場合)

B) 咳

C) 息苦しさ

D) 頭痛

E) 強い疲労感

F) 匂いがわからない

G) 食べ物の味がわからない風邪を思わせる症状

※自宅待機中は、以下のことに注意する

A) 発熱がある場合、38.5℃未満では解熱剤、総合感冒薬の使用を控える

B) 水分、栄養補給を十分にし、体を冷やさないようにする

C) 睡眠を十分に取る

D) 逐次、病状を責任者に報告する

※症状が全て落ち着き、48時間経過したら責任者と相談し出勤可否を判断する

4. 利用者への注意喚起

- (1) 入店時に手指消毒をお願いする
- (2) スタッフがマスクを着用してご案内することを告知する
- (3) 施術中に体調が悪化したり、気分が優れなくなったりした場合は
スタッフまでお申し出いただく
- (4) スペース（店舗）利用時の注意事項並びに体調が思わしくない時の来店自粛
を HP や店内掲示でお客様へ呼びかけ、実行の徹底を強く求める

注意と実行の徹底を利用者に対し明確に周知すべき事項を作成し(次ページ
“利用者へのお願い(定型文)”を参照)、各スペース（店舗）への対応を促す。

利用者へのお願い(定型文)

感染拡大を防ぐため、しばらくの間、以下の点を厳守の上ご利用頂きますよう、強くお願い申し上げます。少しでも該当すると感じる点がある方のご来店は固くお断り申し上げます。

● 次の症状がある方等、該当する点があるお客様の来店をお断りします。

- ① 風邪の症状（くしゃみや咳が出る）や 発熱がある方
- ② 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある方
- ③ 咳、痰、胸部不快感のある方
- ④ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方
- ⑤ その他新型コロナウイルス感染可能性の症状がある方

[補足]

その地区で感染例が報道されている地区では、潜在的に誰が感染しているのかわからないため、一層の対策が必要。以下の厚生労働省 HP を参照のこと。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596905.pdf>

● 過去 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域への渡航、並びに当該居住者との濃厚接触がある方もご来店をお控えいただく。

以下の外務省 HP を参照のこと。

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/conntry_count.html

https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/kansen_risk.html

※地域の学校で学級（学校）閉鎖などが行われた際は、幼児・学童・学生（18 歳未満）の方はご来店をご遠慮ください。

5. 認定試験やリラクゼーションゼミナールへの対応

(1) セラピストを対象とした1, 2級認定試験への対応

受験者へ感染予防対策として受験会場へは必ずマスク着用、会場設置の消毒液による除菌等により開催。但し、今後、感染拡大が収まらない場合は国の方針に基づき試験開催を延期する。その際は、HP への掲載、会員企業へメールで告知する。

(2) リラクゼーションゼミナールへの対応

セミナー会場運営先であるリクルート社の企業方針（10名以上のセミナー開催中止）並びに受講者の健康を守るために、当面、リラクゼーションゼミナールの開催は延期する。今後の開催スケジュール等は HP へ掲載、会員企業へメールで告知する。

6. 最後に...

現況のような状況下ではありますが、営業活動を停止することによる経済状況の悪化は避けたいというのは、各社共通の願いであることは言うまでもありません。

一方で、1スペース（店舗）でも対応の不備による感染拡大が発覚した場合には、業界全体への自粛を要請される可能性がございます。リラクゼーションスペース（店舗）を運営される全ての事業者の皆様には、どうか万全の体制での運営を心掛けて頂きますよう、切にお願い申し上げます。

一般社団法人日本リラクゼーション業協会
理事長 林 加奈恵

<参考>

首相官邸 新型コロナウイルスへの備え

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

首相官邸 感染症対策特集

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/index.html>

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

外務省 海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/007/654/kinkyuujitaisochi.pdf

厚生労働省・経済産業省

新型コロナウイルス対策 手洗い・消毒の取り組みについて

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>

厚生労働省 啓発資料

「新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>

新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った
丁寧な手洗いを行ってください。



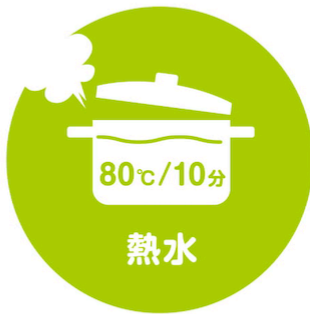
手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100万個
石けんや ハンドソープで 10秒もみ洗い後 流水で 15秒すすぐ	1回	約 0.001% (数十個)
	2回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、
アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤が有効です。

(新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効です)



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。
火傷に注意してください。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。
ハイター、ブリーチなど。
裏面に作り方を表示しています。

- [注意]
- ・家事用手袋を着用して行ってください。
 - ・金属は腐食することがあります。
 - ・換気をしてください。
 - ・他の薬品と混ぜないでください。

